

工学研究科 学位審査基準

博士前期課程

(1) 満たすべき水準

工学に関する豊かな学識と高度の専門知識・技術に基づいた国際的な視点から学問的かつ社会的な諸問題を捉え、高い倫理観と責任感に則って、研究課題を設定し検証を実践する能力、創造的かつ論理的に思考する能力、問題を解決する能力を有することを証示するに足るものであること。

(2) 評価項目

1. 論文の主題を究明する学術的な意義が認められること。
2. 研究対象である主題に妥当な研究計画・研究方法が選択されていること。
3. 論文構成及び表現・表記法が適切であり、論理展開に整合性が認められること。
4. 先行研究を踏まえた検討が行われており、関連する文献・資料を適切に評価し、引用していること。
5. 当該専攻における知識・技術及びそれに関連した関連学問領域についての知識を修得し、高度な学術研究を遂行する能力を有していることが示されていること。

博士後期課程

(1) 満たすべき水準

工学に関する豊かな学識と高度の専門知識・技術に基づいた国際的な視点から学問的かつ社会的な諸問題を捉え、高い倫理観と責任感に則って、研究課題を設定し検証を実践する能力、創造的かつ論理的に思考する能力、問題を解決する能力、独創的な研究を自立的にかつ柔軟性をもって遂行する能力を有することを証示するに足るものであること。

(2) 評価項目

1. 論文の主題を究明する学問的・社会的な意義が認められること。
2. 研究対象である主題に妥当な研究計画・研究方法が選択されていること。
3. 論文構成及び表現・表記法が適切であり、論理展開に整合性が認められること。
4. 先行研究を踏まえた検討が行われており、関連する文献・資料を適切に評価し、引用していること。
5. 豊かな学識と高度の専門知識・技術を修得しており、それに基づいて、自立して独創的な研究を遂行する能力を有していることが示されていること。
6. 工学の当該専門分野の深化・発展に貢献し得る、新規性及び創造性の高い研究成果が得られていること。